

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	次世代音声翻訳の研究
研究代表者	中村 哲 (奈良先端科学技術大学院大学・情報科学研究科・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、通常の逐次翻訳より高度な処理が求められる同時通訳を対象とした自動音声翻訳の実現に必要な基盤的学術の高度化を目指した挑戦的な提案である。応募者は自動音声翻訳分野で高い実績を持ち国際的に高く評価されている。研究組織構成は大ぶりであるが、従来の音声自動認識関連技術に加え、同時通訳ならではの脳情報処理の解明と活用など、目標達成に向けた学術的課題解決に必要な構成と認められる。</p> <p>講演、講義、会議が対象であるなら、共感や相互理解など、コミュニケーションの質向上を目指すことも重要であるが、世界を主導する高い成果が期待できることから、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>